

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金  
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月5日作成

活性化計画名	星山・犬吠森地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
紫波町	033219	1	平成24年度～ 平成28年度	平成24年度
活性化計画の区域				
星山・犬吠森地区（岩手県紫波町） 1,638ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	2年	100%	

(コメント)

基盤整備の事業着手が円滑に行われたことにより、農家の営農意欲が喚起され、農家戸数の減少が抑制された。

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値A = (目標値/現状値) × 100 - 100、実績値B = (実績値/現状値) × 100 - 100

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
基盤整備（地形図作成）	航空写真及び現地測量による地形図の作成 A=335ha			紫波町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
紫波町	平成 24 年度	平成 24 年度	平成 25 年 1 月 8 日	
事業の効果				
<p>本交付金を活用し、当該事業を実施する事で、農地整備事業（経営体育成型）の実施に向けた話し合いが加速化され、基盤整備の事業着手が円滑に行われたことにより、農家の営農意欲が喚起され、農家戸数の減少が抑制された。</p>				

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>農地整備事業（経営体育成型）の実施に向けた話し合いが加速化され、基盤整備の事業着手が円滑に行われたことにより、農家の営農意欲が喚起され、農家戸数の減少が抑制された。</p>
---

4 第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、基盤整備に必要な地形図作成を行ったことにより、当該区域の基盤整備事業の着手が迅速に行われ、現在も円滑に事業が執行されている。 このことが、地域を活性化し、農家の意欲向上と定住化の促進につながったものとする。</p> <p style="text-align: right;">一般社団法人紫波町農林公社 代表理事 藤尾 東泉</p>
--